

MIDDLE (1989 ~ 1999)

| | Research Question | Method | Result |
|--|---|--|--|
| 1989 | 例示文の試しの効果が 読みに及ぼす影響 | | 抽象文の例示文は、理解の整合性を試す意味でよく読まれる。 アナロジー文は、一読、短時間で理解されるようだ。 |
| | | 科学技術文を読ませる課題を行う際に、事前のトピックに対する興味も調べている。 | |
| | 異なる事例、他の事例にも応用可能ということが、知識の一般化に役立つ。 | | |
| 先に設問を与えない方が学習が促進される。(予想と反対) 全体を読んで初めて意味が見えてくる文章の場合、問題解決モードで、答えの箇所を選択的に探そうとすることが悪影響なのではないか？ | | | |
| 1990 | 説明文のわかりやすさは、段落ごとに完結であること。段落間ごとのつながりが良いもの。段落ごとの意味内容が明示されているものが良い。 CAI という言葉が盛んに出てくる。 | | |
| 1991-1992 | 谷口篤が、具体的事例の挿入が文章の記憶に及ぼす影響を述べている。 具体的アナロジが有効に作用する場合について。Grounding 効果、具体的なケーススタディは一般的な法則を見いたしてやる、 抽象的な文章は、具体的な既有知識に結びつくことを見つけ出す Structural Reading は、つまりは先行オーガナイザ。 抽象的な知識、よりトップにある抽象的で一般的な知識から拾い集めてくる。 = 抽象的思考 今度は、それを具体的アナロジーによって、抽象化 具体化を行うんだけども それを助けるのが、イメージなんだ。 | | |
| | 文章を読むのに時間をかけただけ、記憶力が良くなるというものではなくて 時間がかかるのは、イメージ化しにくいから。 | | |
| | 概念図から文章の意味を読み取る方が、文章から読み取るよりも、成人にとってはほうが簡単。 つまり、概念図の先行オーガナイザがわかりやすいということ。 | | |
| 1994-1995-1996 | 概念図を書かせて、心像の勉強をさせたほうが、普通の文章よりも効果があった。 | | |
| | イメージスキーマの研究が現れる。 ギルフォードの拡散的思考は、創造性との関係が薄いことが指摘されている。よって なぜ、これは無ではなく、存在するのか、どのような変化を経て存在に到っているのか？ 生き延びた方法は？などの Root Question が創造性プログラムに良いとっている。 | | |
| | | | |

| | Research Question | Method | Result |
|--|--|--------|---|
| | 自己関連を行った方が、意味成分が自発的に有意に付加される。文章で要約されているより、図で要約されているほうが、理解を促す。(Robinson & Kiewra, 1995) | | |
| | <p>既有知識のないもの 接続性、一貫性のある文が良い。</p> <p>既有知識のあるもの 逆に連結性のない方が自己の知識に基づいて推論できるから(Kintschの状況モデル) 良い。</p> | | <p>結果は、連結性のある文のほうが、既有知識のあるものにおいても、Original な文に劣らず有効であった。社会科学の文章においては、ローカルレベルで連結しても良いかもしれない。</p> |
| | 図表の利用を促す自己学習用教材の開発(方向性はこれだと思う) | | |

RECENT(2000~2003)

なぜ、AはBになるんだというふうに、テキストに対して、たくさん疑問を持つものは長い要約をつくる。

逆に、単語の定義や、断片手kの名事実が知識であると考えている人は疑問が少なく、要約も短い。

説明文の理解支援には、どのような図の提示方法が有効か？

学習スタイルによって異なる。

熟慮・分析型 部分図

他のタイプ 全体図だけ

なんで、両方提示するっていうのがないんだろう。

単に情報量が多くなると、いやだっていうことはないだろうか。

